

じぶざかとうげ
治部坂峠

三州街道の最高標高地点

標高1,187m。治部坂峠は、阿智村(旧浪合村)と平谷村との境にある国道153号線で、三州街道の最高標高地点にある。交通史としては、古くは1533(天文2)年に記録があり、1554(天文23)年には、武田信玄が伊那攻略のための軍用道路として改修した。1593(文禄2)年、飯田城主京極高知により平谷が宿場として制定され、中馬(馬の背に荷を乗せ運ぶ輸送手段)の宿として繁栄した。1891(明治24)年、三州街道として開通し、運送馬車が通行するようになり、1923(大正12)年に、初めての自動車(トラック)が通行した。



整備された国道とスノーシェルター
冬季の積雪量が多く、峠付近の山麓部(阿智村浪合)には、スキー場が開設されている。



峠脇にある峠道は今は使用されていない



宿場町の面影が残る西町の馬頭観音



美しい佇まいの上村街道の一番観音

information

- アクセス
飯田山本ICから20km
車→40分
- 所在地
阿智村・平谷村



平谷から鷹巣を越えて岐阜へ出る道を上村街道といい、室町中期以降には京都へ行く重要な道であった。街道沿いには上村街道で一番美しい石像といわれる「一番観音」(1901(明治34)年)が建立されている。

1556(弘治2)年、武田信玄により現平谷村に信濃で最初の関所「滝之沢関所」が設置された。この場所は東西の谷が狭まり交通の難所であったため、1621(元和7)年に阿智村浪合の町頭へ移転し、1721(享保6)年には水害にあい、1722(享保7)年現関所跡の地に移転した。



(国土地理院の数値地図50000(地図画像)を使用)